

記入例6-2 退学し、修学資金の返還計画を届け出る②

返 還 計 画 書

〇〇〇〇年 〇 月 〇〇 日

東京都社会福祉協議会会長 様

(申請者)

住所 〒123-4567
東京都千代田区飯田橋 3-10

氏名 東京 太郎

TEL 03(1234)5678

当てはまる方に○⇒ (修学生・連帯保証人)

下記のとおり介護福祉士等修学資金の返還について申請します。

返還事由発生年月日は、退学
日を記入してください。

修学生番号	K***001	修学生氏名	東京 太郎
返還事由発生年月日	〇〇〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日		
返還事由 *該当事由に ○をつける	<div>① 退学した</div> <div>2 貸付を辞退した</div> <div>3 貸付を打切られた</div> <div>4 卒業後返還免除対象業務に従事しない等、返還猶予又は免除の対象とならない</div> <div>5 返還免除対象期間を満たさず返還免除対象業務をやめた</div> <div>6 返還猶予中にその理由が消滅し、返還猶予又は免除にも該当しない</div> <div>7 返還猶予又は免除を受けることができるが、それを希望しない</div> <div>8 その他(具)</div>		
貸付内容や貸付を受けた 月数に応じた返還期間内 に返還完了するように計 画を立ててください。	貸付額①	〇,〇〇〇,〇〇〇 円	
	返還済額②	円	
	返還免除額③	円	
	返還額	① - ② - ③ 〇,〇〇〇,〇〇〇 円	
返還期間	貸付期間	〇〇〇〇年〇月 ~ 〇〇〇〇 年 〇月 (〇〇ヶ月)	
	返還猶予期間	年 月 ~ 年 月 (ヶ月)	
	返還期間	〇〇〇〇年〇月 ~ 〇〇〇〇 年〇月 (ヶ月)	
返還方法	返還方法	①月賦 ②半年賦 ③年賦 ④一括	
	1回の返還額	〇,〇〇〇,〇〇〇円 (初回 — 円)	
連帯保証人	住所	〒333-3333 東京都新宿区神楽河	
	氏名	東京学	TEL 03-3333-3333

- ※1 返還期間は「返還事由発生年月日」の属する月の翌月から開始()。
- ※2 月賦・半年賦・年賦で返還を希望される場合には「預金口座振替依頼書」もあわせてご提出ください。
- ※3 基本的に返還期限(下記参照)までに返還額全額を返還完了するように1回の返還額を設定してください。
難しい場合はご相談ください。なお、返還期限を過ぎる場合、延滞利子が発生します。

《返還期限の確認方法》

「返還事由発生年月日」の翌月を含む〔(貸付期間の月数×2) + (入学準備金を借受けた場合8) + (就職準備金を借受けた場合8) + (生活費加算を借受けた場合その月数×2)〕